

平成21年度 個別施策管理シート

個別施策	10臨海部道路ネットワークを充実する	コード 10210	施策推進 責任者	企画調整室長 建設部長 企画調整室次長
個別施策 の目的	サービスの対象者(誰のために)	港運、荷主、トラック事業者		
	サービスの対象物(何を)	名古屋港周辺の幹線道路、臨港道路		
	意図(どういう状態にしたいのか)	渋滞が緩和され、円滑に貨物輸送ができる		
個別施策 の内容	名古屋港周辺の幹線道路では、西部地区における交通量の増加により、慢性的な交通混雑が発生しています。また、臨港道路においては、コンテナターミナルを利用する大型トレーラーの渋滞が顕著となっています。このため、周辺の幹線道路ネットワークの構築や港内における交通混雑の緩和により円滑に貨物輸送ができるようにしていきます。			

1. 個別施策の成果指標の設定と目標の達成状況

施策の目標		西部地区における主要交差点での渋滞緩和を図ります。			
成果指標名	単位	実績 H19	実績 H20	目標 H24	指標の説明(式)
桜木大橋北交差点の渋滞 長(北向き)	実績	m	590	420	250
	達成率	%	-	50.0	
桜木大橋北交差点の渋滞 長(東向き)	実績	m	420	280	210
	達成率	%	-	66.7	
楠1交差点の渋滞長	実績	m	550	150	120
	達成率	%	-	93.0	
目標の達成に影響を及ぼす 外的要因等		世界の景気動向による貨物量の増減			

3. 個別施策の実現に向けた今後の展開方向

現状における 課題認識	<ul style="list-style-type: none"> 道路ネットワーク計画の策定(港湾計画の策定)については、世界同時不況から港湾計画の基本となる貨物量等の計画指標を定めるのに時間を要することから、計画策定の手続きに入れていません。 一方、コンテナ機能の飛島ふ頭及び鍋田ふ頭への2大拠点化の推進により、コンテナ関連の交通が集中するため、西部地区の交通渋滞の緩和に向けた取り組みを急ぐ必要があります。 現状では飛島ふ頭入口の交差点改良によるボトルネックの解消や世界同時不況による貨物量の減少により一時的には渋滞は緩和されていますが、鍋田ふ頭においては中国関連の貨物の回復のテンポが速く、ふ頭進入道路の整備を急ぐ必要があります。 広域幹線道路網整備の支援については、長年の懸案であった名古屋環状線西南部・南部区間が、平成21年4月に「基本計画」から「整備計画」に格上げされ、同年5月に事業着手となり大きく前進しましたが、政権交代による政策変更により、高速道路関連予算が削減される懸念があります。
構成事務事業 の適正性 (事務事業の 構成内容)	<ul style="list-style-type: none"> 事務事業構成は概ね妥当であると考えます。
今後の 展開方向 (新規事業の 創出、事務事業 の見直し等)	<ul style="list-style-type: none"> 道路ネットワーク計画の策定については、コンテナ2大拠点を踏まえた円滑な交通体系の確立と改訂の時期を関係者と調整していきます。 名古屋環状線西南部・南部区間は、本港にとっても背後圏との南北方向の重要な高速アクセスであり、早期完成に向けて関係機関と連携し、国への要望活動を積極的に進めていきます。 飛島ふ頭内では、各ターミナルのゲート待ち車両が惹起している道路渋滞を解消するために、ゲート機能集約の事業化について検討を進めていきます。 鍋田ふ頭道路(進入)整備事業は、世界同時不況により地方財政が非常に厳しい状況にありますが、着実に推進していきます。加えて、ソフト面での渋滞緩和策についても検討する必要があります。

2. 個別施策を構成する事務事業の今後の方向性

コード	事務事業名	事務事業の概要	主な成果指標名 (又は活動指標名)	単位	成果・事業費(千円・人件費込)			目標値 (目標年度)	目標達成に 向けての 状況	事務事業の改善 ・見直しの余地		施策 貢献度 (H20)	適時性 (H22)	今後の方向性			備考
					H19	H20	H21			多い	少ない			事務 事業の 方向性	取組の 方向性	コスト 削減 裁量 余地	
					成果実績 決算額	成果実績 決算見込額	成果目標 予算額										
1021001	道路ネットワーク計画 の策定(港湾計画の策定)	交通のボトルネックの解消や、コンテナ貨物の増加による港湾関連車両の分散化など、既存施設の有効活用を含めた効率的な道路ネットワーク体系の調査・検討を行います。	策定進捗率	%	20	26	100	100 (H21)	遅れ	-	○	-	高い	継続	延伸	無	・事業費には、他の(港湾計画の策定)と不可分の調査費を含みません。(H19:24,095千円、H21:93,200千円)
					2,606	2,631	2,674										
1021002	広域幹線道路網整備 の支援	関係機関と連携し、国への要望活動に参加します。	要望道路の事業化	件	0	1	-	- 継続事業	順調	-	○	高い	普通	継続	維持	無	
					1,311	1,338	1,248										
1021003	飛島ふ頭道路(改良) 整備事業	円滑な車両走行を確保するとともに飛島ふ頭へのアクセスの定時性を確保するため、臨港道路を整備します。	事業進捗率	%	99.8	100	-	100 (H20)	完了	/	/	/	/	/	/	/	
					28,000	38,000	-										
1021004	鍋田ふ頭道路(進入) 整備事業	鍋田ふ頭における物流の効率化を図るため、臨港道路を整備します。 整備内容:道路整備(延長2.3km、幅員3.5m×4車線)	事業進捗率	%	27.0	33.0	39.0	100 (H27)	順調	-	○	高い	高い	継続	維持	無	
					931,000	873,000	875,000										
施策コスト(事業費合計)					962,917	914,969	878,922										

注)目標値欄の「継続事業」は時期を定めず行う事業です。この場合の目標値及び目標年度は原則としてH24年度の間目標として設定しています。

注)事業費は総事業費から本組合負担分を抽出して計上しています。